



Grow Up

■ 持久走大会(11月5日(月))

持久走大会お疲れ様でした。これまで毎週末の6校時、全4回、一生懸命汗をかきながら仲間と共に走り、大会に向けて練習に取り組んできました。大会後の表彰式では、校長先生から「意味をもって走るのは人間だけだ」という言葉を頂きました。今回の持久走大会で、皆さんはどんな意味をもち、自分の成長に繋げましたか?振り返りをいくつか紹介します。



去年は途中で歩いてしまった。それが悔しかったので今年は歩かず完走できてとても嬉しかった。

地域の方や保護者の方が「頑張れ!頑張れ!」って言ってくださって、頑張ろうという気持ちになりました。

やっぱり他の人に励まされると嬉しいし、ライバルがいると強くなれると学びました。

ライバル的な存在がいたけれど途中であきらめてしまった。心が弱いと感じたので、これから日々努力していきたいです。

本番では、少し歩いてしまうところがあったけれども、最後まで走り切ることが出来てよかった。来年は歩くことなく最後まで走り切りたい。

練習や本番の前や後に、「頑張ろうね」、「お疲れ様」などと声をかけ合い、友達と団結することが出来ました。

走っている最中に、何回もネガティブな考えが頭をよぎりましたが、最後にスパートをかけ去年よりも順位が上がってよかった。

来年は、受験生なので部活もなく、練習をする時間はないけど、持久走から学んだ自分の限界を壊し、これからの学校生活や受験勉強に生かしたいです。



今回、学年として素敵だと感じたことは、参加者の全員が完走したことです。連休明けであり、試合のあった部活もありましたが、その言い訳をしない姿勢はとても素敵な姿だと思いました。さて、持久走大会など行事が終わった後に、一番大切なこととして振り返りを行いました。これは、過去の自分と比べてどうだったかを確認することで、自分の成長を実感できます。また、自分と向き合って走った時間をもう一度振り返ることで自分自身を知ることができます。なぜなら、辛いことをしている時に、人は本当の自分に出逢うからです。「思ったよりも頑張ったな」、「周りの声援ってこんなに嬉しんだな」、「目標より順位は悪かったけど自分は頑張ったな」、「走るのって苦手だけど走り切ったな」、「疲れたから手を抜いてしまった自分がいたな」など、振り返りは人それぞれでしょう。振り返りの中で、これらの経験からどんな自分で在りたいかももう一度考えてみましょう。これから2年生は行事がたくさんあります。その一つひとつに意味を見出し、Grow Up!!していきましょう!